

ふるさとの島

みなみ 南なるふる里の島かげ
なに ひと 何人がうつしうゑけむ。

とし 年ごとに色もかはらず
くれなゐの椿花咲く。

なんごく うみ 南国の海のにほひに
あたたく いく 異香薫じて。

うつく はな 美しき花のかげには
はね ことり な 羽あかき小鳥啼きいづ。

ことり なに ああ小鳥何をうたふや
みなみ 南なるふる里の島かげ——



有本芳水「ふる里の島かげ」より

画：伊藤太一

港町でくらす芳水にとって、
海はわが家の庭のようなもの。
のんびりと浮かぶ島のひとつひとつも
なつかしい家族です。
そういえば、
毎年きれいな花を咲かせるこのツバキの木は、
むこうに見えるあの島から
だれかが植え替えたものなんですって。
ほら、
小鳥が、お気に入りの枝にとまって
たのしそうにうたっていますよ。
ぴょんぴょんとはねるたびに赤い花がゆれて、
むこうの島に合図しているみたい。
「ねえ、そっちはどう？」って。

(姫路文学館学芸員・甲斐史子)

第36回 子供の詩 有本芳水賞 募集要項



ひめしん文化会主催
姫路文学館協賛



〒670-8652 姫路市十二所前町105 姫路信用金庫内 ひめしん文化会 TEL079-288-1121(代)

有本芳水賞創設趣意

姫路で生まれた故郷の詩人有本芳水を顕彰し、地域の子供たちの情操を高めるため、平成元年に「子供の詩 有本芳水賞」を創設し、毎年播磨地域の小学生を対象に詩を募集し、優れた詩を表彰しています。

ひめしん文化会は、有本芳水賞を通して「子供たちに自分を見つめる機会を与えると同時に、周囲の人々との関わりの中で、伝えることの大切さを学び、自分らしさを表現する力を育んでほしい」と願っています。

第36回「子供の詩 有本芳水賞」の作品募集についてご案内申し上げます。

有本芳水賞は、創設以来、子供たちとともに歩み、成長を見守り続けてまいりました。

関係各位の皆さまのご理解とご協力に深く感謝いたします。

素晴らしい感動に出会えることを楽しみに、皆さまからのご応募をお待ちしています。

2024年 6 月

姫 路 信 用 金 庫
理事長 三 宅 知 行
ひ め し ん 文 化 会

募 集 要 領

1. 募 集 作 品 2024年 4 月 1 日から締切までに創作した小学校児童の詩。題は自由。1 人 1 作品。応募作品は児童の自作であり、未発表のものに限る。(他のコンクール等に応募していないもの。)
2. 賞 推薦委員会、選考委員会を経て次の賞を決定します。

有本芳水賞・最優秀賞	1 点
有本芳水賞・優 秀 賞	学年 各 2 点 12 点
金 賞	学年 各 4 点 24 点

※先生賞（最優秀賞・優秀賞作品を指導された先生を表彰）
※応募者全員に参加賞をご用意しています。
※賞の数は、変更になる場合があります。
3. 選 考 委 員 尾崎 美紀（詩人、児童文学作家） 時里 二郎（詩人）
4. 締 切 2024年10月20日
5. 発表・表彰 2025年 3 月
6. 応 募 方 法 原則として個人での応募は受付できません。各学校にて応募数と推薦作品を取りまとめの上、ご応募下さい。(推薦作品は 1 クラス 3 作品までとします。)
 - 用紙は A 4 に統一します。(2 枚以上にまたがる作品は、縮小コピーして A 4 サイズ 1 枚に収めて下さい。)
 - 作品のおもてに必ず「学校名・学年・組・氏名・題」を記入して下さい。
7. 応 募 先 〒670-8652 姫路市十二所前町105番地
姫路信用金庫内 ひめしん文化会 ☎ 079-288-1121 (代表)
最寄りの姫路信用金庫各支店でも受付けております。

◆応募に関する注意事項

審査結果にかかわらず、応募作品の諸権利は二次利用を含めて主催者側に帰属するものとし、応募された原稿は返却いたしません。

◆個人情報に関する注意事項

応募者の個人情報は、本賞の運営に必要な範囲でのみ利用し、当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合を除き、第三者に提供いたしません。ただし、受賞作品については、広報活動等のための印刷物、ホームページ等への作品掲載のために利用させていただくほか、報道機関を含めた関係者へ提供しますので、あらかじめご了承のうえ、ご応募ください。

選考委員プロフィール



尾 崎 美 紀
(おざき みき)

詩人・児童文学作家、日本児童文学者協会会員、日本文藝家協会会員、毎日カルチャー講師
兵庫県姫路市生まれ

1986年 第2回「ニッサン絵本と童話グランプリ」でグランプリ受賞、「毎日小さな童話賞」「新美南吉童話賞」など。

1992年 半どんの会文化賞

2003年 姫路市芸術文化賞（芸術年度賞）

2017年 兵庫県ともしびの賞

2018年 姫路市芸術文化賞（芸術文化賞）

2019年 文部科学省社会教育功労賞

サンテレビ「ふるさとの先輩」に出演。野里小学校で生徒たちに絵本づくりを指導。

絵本「あたしのいもうとちゃん」「あ・し・あ・と」(小学校4年生国語教科書に掲載)

「なのはなごうしゅっぱつしんこう!」「のどほとけさん」「バナナわに」

詩集「出発はいつも」「らいおん日和」「パリパリと」「いとしのスナフキン」

童話「まさかのさかな」「さよなら ごめんおばけ」「ちょっと源さんお借りします」「坂の上のパン屋さん」など多数。



時 里 二 郎
(ときさと じろう)

詩人・日本現代詩人会会員

兵庫県加西市生まれ

1983年 詩集「胚種譚」でブルーメール賞

1988年 詩集「採訪記」で第11回姫路市芸術文化賞（芸術文化年度賞）

1991年 詩集「星痕を巡る七つの異文」で第2回富田碎花賞

1996年 詩集「ジバング」で第37回晩翠賞

2000年 第24回井植文化賞、兵庫県芸術奨励賞

2004年 詩集「翅の伝記」で第22回現代詩人賞

2006年 第28回姫路市芸術文化賞（芸術賞）

2017年 6月より神戸新聞 読者文芸「詩」の選者

2019年 詩集「名井島」で第49回高見順賞、第70回読売文学賞

2020年 姫路市芸術文化大賞

2021年 兵庫県文化賞

その他の著書として「伝説」「日本の現代詩（共著）」「石目」ほか。



「ひめしん文化会」シンボルマークの由来

マークに描かれているのは、詩人 有本芳水の生まれ故郷、飾磨の恵美酒宮天満神社にある灯台をかたどった詩碑です。

有本芳水は、明治19年に現在の姫路市飾磨区玉地で、回船業を営む酒屋の旧家に生まれ、幼少期を飾磨の地で過ごしました。家庭の事情で、小学校卒業と同時に姫路を離れましたが、幼少時代の思い出は生涯忘れることなく、芳水が書いた詩の多くにふるさと姫路を思う様子が記されています。

詩碑には芳水が書いた詩の一節が、次のように刻まれています。

播磨はわれの父の国
播磨はわれの母の国
飾磨の海にともる灯の
その色見れば泪ながるる
有 本 芳 水

芳水ゆかりの地に建つ詩碑を描いたこのマークを、ひめしん文化会のシンボルとして、詩集や募集要項の他、記念グッズなどに幅広く使用しています。デザインは、彫画家 伊藤太一氏によるものです。



飾磨の恵美酒宮天満神社に建つ芳水詩碑（昭和41年建立）
かつての木造灯台を模したデザイン